

23.4.1~23.9.30

だいしんレポート

2011年度上半期ミニディスクロージャー誌

DAISHIN DISCLOSURE



だいしん
大分信用金庫

ごあいさつ

皆様方には、平素より「だいしん」大分信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

私ども「だいしん」は、大正11年に創業以来、会員制度による協同組織金融機関として、地域に密着した健全経営を行ってまいりました。

さて、上半期におけるわが国の経済は、「東日本大震災」で寸断されたサプライチェーンや生産設備の復旧が進むとともに、消費の自粛ムードもようやく和らぎを見せて、国内の経済活動は平常を取り戻しつつあります。

一方、長引く電力不足への対応や原材料の高止まりなどによるコスト上昇に加え、超円高とその長期化懸念により、輸出企業を中心に業績の下振れ懸念が高まっているほか、欧州債務問題の深刻化や米国経済の減速、新興国の成長鈍化などにより、世界的に経済情勢は不安定さを増してきております。

このような情勢の中で、当金庫におきましては、一段と高まりつつある地域金融機関への期待に応えるべく、「迷わず信用金庫する」理念のもと、小口多数と狭域高密着に徹して基盤強化を図り、また政府の緊急経済対策等を踏まえた資金繰り支援等、中小企業金融の円滑化に最大限注力して参りました。

この結果、23年9月末現在の業績は、預金残高1,977億円、貸出金残高871億円、当期純利益は2.1億円となりました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は、安定した利益の計上とリスク資産等の減少により、対前期末比0.58ポイント上昇して22.52%となりました。

これもひとえに皆様方のご理解ご協力のお陰と存じ、心から感謝致しますとともに、今後とも状況変化を慎重に観察しつつ、経営努力いたす所存です。

何卒よろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この半期ディスクロージャー誌は、地域金融機関としての情報開示や説明責任を果たす意味で、主要な財務内容や地域活動の状況について開示しているものであります。

皆様方におかれましては、是非とも本冊子をご高覧頂き、少しでも「だいしん」へのご理解を深めて頂ければ幸甚に存じます。

平成23年11月



理事長

理事長 山上 博資

経営理念

1. 地元産業の発展に寄与する
2. 利益を得たいが他人の利益を先にする
3. 内容を堅実にし待遇の優れた金庫とする
4. 五訓精神の徹底を期する

五訓

1. 時間を徒らに費やすな
2. 物を粗略にするな
3. 如何なる仕事も楽しみて勤めよ
4. 人に親切にし誠をつくせ
5. 吾身を省み人をそしるな

経営方針

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しく、信用金庫業界においても自己責任原則に基づく経営の健全性、信頼性向上への要請が一段と強まってきています。

こうした情勢のもとで、地域限定・中小企業専門・協同組織たる信用金庫の機能発揮がますます強く求められるものと認識し、経営の合理化、効率化を推進するとともに各種リスク管理の徹底、経営基盤拡大を重要課題とし、「迷わず信用金庫する」をモットーに「自立と共生」の精神で、「健全経営」と「地域貢献」に更なる努力を重ねて参る所存です。

当金庫の概要 (平成23年9月末現在)

● 創業	大正11年11月	● 預金	197,736百万円	● 会員数	28,968名
● 本店所在地	大分市大道町 3丁目4番42号	● 貸出金	87,148百万円	● 店舗数	29店舗
		● 出資金	684百万円	● 常勤役員数	227人

■主要な経営指標の推移

<預金、貸出金等の推移>

(単位:百万円、人)

	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
貸出金残高	92,646	90,361	87,148
預金残高	192,522	195,578	197,736
有価証券残高	40,223	44,515	47,785
総資産額	212,805	215,690	218,230
出資総額	685	683	684
職員数	227	223	219

注:総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

<収益及び利益等の推移>

(単位:百万円)

	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
経常収益	2,047	3,998	1,928
経常利益	381	741	362
業務純益	400	1,186	338
業務粗利益	1,794	3,524	1,703
当期純利益	289	321	219

注:22年9月末計数及び23年9月末計数は6ヶ月間の実績です。

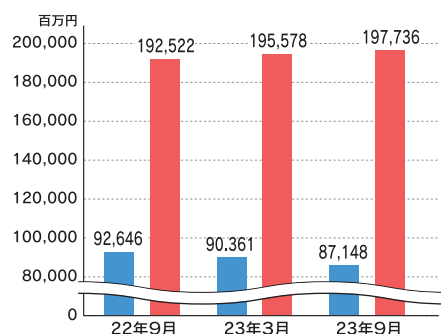
■会員の状況

(単位:人)

区分	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
法人会員	4,093	4,078	4,058
個人会員	23,978	24,512	24,910
(個人事業主)	(3,294)	(3,296)	(3,250)
合計	28,071	28,590	28,968

<預金貸出金残高の推移>

貸出金残高 預金残高 (単位:百万円)



■自己資本比率等の状況(単体ベース)

(単位:百万円、%)

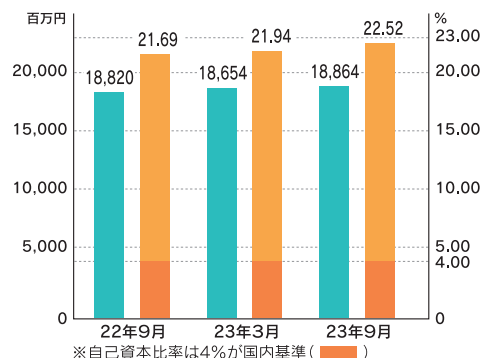
区分	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
自己資本額	18,820	18,654	18,864
基本的項目	17,748	17,801	18,021
リスクアセット等	86,744	85,002	83,751
自己資本比率	21.69	21.94	22.52
基本的項目比率	20.45	20.94	21.51
総所要自己資本額	3,469	3,400	3,350

※自己資本比率=自己資本額/リスクアセット等

※総所要自己資本額=自己資本比率の分母(リスクアセット等)×4%

<自己資本額・比率の推移>

自己資本額 自己資本比率



■有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	平成23年3月末					平成23年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち評価益	うち評価損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち評価益	うち評価損
満期保有目的の債券	30,981	31,700	718	749	30	32,180	33,113	933	936	3

(単位:百万円)

	平成23年3月末					平成23年9月末				
	取得価格	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益	うち評価損	取得価格	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益	うち評価損
その他有価証券	13,323	13,533	210	248	38	15,088	15,605	516	519	2
株式	32	32	-	-	-	32	32	-	-	-
債券	13,285	13,495	210	248	38	15,050	15,567	516	519	2
その他	4	4	-	-	-	4	4	-	-	-

注 1. その他有価証券の「評価差額」は、基準日時点の取得原価と時価との差額を計上しております。

(注)本資料に掲載しております計数は、原則として単位未満を切捨て、構成比等については少数点第3位を切捨てて表示しております。

貸出金残高業種別内訳

(単位:百万円、%)

業 種	平成23年3月末		平成23年9月末	
	残 高	構 成 比	残 高	構 成 比
製 造 業	2,965	3.28	2,871	3.29
農 業、林 業	115	0.12	110	0.12
漁 業	212	0.23	215	0.24
鉱業、採石業、砂利採取業	431	0.47	430	0.49
建 設 業	9,449	10.45	9,337	10.71
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—
情 報 通 信 業	62	0.06	78	0.08
運 輸 業、郵 便 業	1,453	1.60	1,306	1.49
卸 売 業	3,513	3.88	2,550	2.92
小 売 業	6,875	7.60	6,586	7.55
金 融 ・ 保 険 業	1,839	2.03	1,852	2.12
不 動 産 業	18,403	20.36	18,109	20.77
物 品 賃 貸 業	160	0.17	137	0.15
学術研究、専門・技術サービス業	200	0.22	188	0.21
宿 泊 業	2,715	3.00	2,716	3.11
飲 食 業	2,145	2.37	2,137	2.45
生活関連サービス業、娯楽業	3,776	4.17	3,643	4.18
教 育、学 習 支 援 業	274	0.30	287	0.32
医 療 ・ 福 祉	733	0.81	671	0.76
そ の 他 の サ ー ビ ス	2,621	2.90	2,433	2.79
国 ・ 地 方 公 共 団 体	892	0.98	664	0.76
個 人	31,518	34.88	30,819	35.36
合 計	90,361	100.00	87,148	100.00

(単位:百万円、%)

金融再生法開示債権額

	平成23年3月末		平成23年9月末	
	残 高	総与信に占める割合	残 高	総与信に占める割合
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,225	4.52%	4,176	4.64%
危 険 債 権	4,126	4.42%	4,048	4.50%
要 管 理 債 権	339	0.36%	289	0.32%
小 計 (A)	8,691	9.31%	8,515	9.46%
正 常 債 権	84,626	90.68%	81,425	90.53%
合 計	93,317	100.00%	89,940	100.00%
保 全 額 (B)	7,922		7,775	
貸倒引当金 (C)	4,011		3,998	
担保、保証等 (D)	3,911		3,776	
保 全 率 [(B) / (A)]	91.16%		91.30%	
担保・保証等控除後債権に対する引当率 [(C) / ((A) - (D))]	83.92%		84.38%	

注 1.「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権です。

3.「要管理債権」とは、3ヶ月以上の延滞の状態にあるか、もしくは貸出条件緩和を行っている債権です。

4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

5. 金融再生法開示債権には貸出金以外の債権（債務保証・未収利息・その他与信に関連する仮払金等）が含まれています。

6.「貸倒引当金 (C)」は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

4月

- 1日 平成23年度新入職員入庫式 **Ph1**
定期積金「だいしん」取扱開始

5月

- 18日 萬弘寺の市参加(24日迄)

6月

- 1日 「サマー定期・メンバーズ サマー定期」取扱開始(8月31日迄)
- 4日 七瀬川ホテルまつり参加
- 5日 大分川河川クリーン活動参加
- 15日 「信用金庫の日」イベント開催 **Ph2**
テーマ:だいしんオモシロ文化ゼミナール
イベント:Mr.BunBunパフォーマンス
講演会 講師:ジェフ・バーグランド
演題:日本から文化力
- 26日 第16回 鶴崎・大在地区ミニバレーボール大会開催

7月

- 6日 長浜神社祭り参加
- 10日 弥栄神社・大国社夏祭り参加
- 11日 「だいしんきゃつする300」取扱開始
- 12日 大分デザイン会議 事業承継セミナー
演題:中小企業経営者の事業承継対策
講師:飯塚 貴司
- 15日 「だんかい定期スーパー」取扱開始(H24年1月31日迄)
若宮神社祭り参加
臼杵祇園祭り参加(23日迄)
- 23日 県下信金野球大会参加
みなみおおいた夏祭り参加(24日迄)
SAEMON23参加
さいき葛港「海ホテルまつり」参加
- 24日 天神さま夢通り参加
- 25日 天満社祭り参加
- 30日 ななせ火群まつり参加(31日迄)
- 31日 別保商工夏祭り参加

8月

- 5日 第27回「府内戦紙」出場 大分信用金庫「審査員特別賞」受賞 **Ph3**
- 8日 さいき番匠の火まつり「市民総踊り大会」参加
- 20日 本場鶴崎踊り大会出場「OAB賞」受賞 **Ph4**
- 26日 東大分商工夏祭り参加

9月

- 1日 JR大分駅ATMの営業時間変更
- 10日 新屋敷げん気祭り参加
- 14日 仲秋祭・浜の市参加



Ph1



Ph2



Ph3



Ph4



だいしん

シンボルマーク



矢車草

矢車草は日本古来のゆかしい、多くの人に愛されてきた親しみ溢れる草花です。小さな花弁が集まってひとつの花ができているように、人と人との出会いから生まれる小さな輪がだんだんと膨らんで大きく成長し、やがてコミュニティという花を咲かせます。私たちは、この小さな出会いを大切に考え公共性豊かな金融機関として地域社会に奉仕し、よりよい環境づくりの中心になりたいと考えています。信頼される地域のコミュニケーションが私たちの願いです。